

## 令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和3年10月）会議録

日 時：令和3年10月14日（木）午後6時00分～20時25分

出 席：大槇 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 小林 森 増田

事務局：石川 俣本

欠 席：なし

### 1 開会のあいさつ

大槇：コロナ感染者数が6日間位100名を切っている。第6波の話もあったので、ここま  
で減り逆に恐ろしいと思っている。各委員所属の団体で対面会議が実施されること  
になり、皆さんも忙しくなっていると思う。まだ感染予防をして気をつけながら会議  
をしなければと思う。日常の生活も気をゆるめずに過ごしたい。講座についてはそれ  
ぞれ良い形で終えることができています。

石川：資料確認。「西一元氣通信」が完成した。今回は印刷を本庁で行った。本庁の印刷機  
ではページを増やしてホチキス止めも可能。配布冊子「新田砂川を訪ねて～砂川の歴  
史散策～」は生涯学習推進センターの市民科プロジェクトで作成。プロジェクトは各  
学習館から職員が参加し毎年この様な企画を実施している。今回は高松町、曙町の立  
川駅周辺を学んでいる。明日は曙町の散策がある。

大槇：私達も講座を企画し豊泉さんの積み重ねてきたものを受け止めて次に繋げていかな  
ければと考えている。

### 2 令和3年度地域活性化講座について

#### (1) 「にしすな夜間塾〈第5弾〉～体操を楽しもう」

- ・日 程 10月2日（土）14：00～16：00

- ・開催場所 西砂会館

- ・講 師 シンコースポーツ（株）  
西村 武士 氏、山内 俊 氏

- ・参加人数 13名（保護者6名、子ども7名）

- ・スタッフ 委員：6名、事務局：2名

石川：日中、西砂会館で実施。申し込みは、当初4名だったが、委員の声掛けがあり、13名  
が集まった。保育は同室で実施。アンケートに「子どもが騒いでじっくりできなかつ  
た。」とあった。スポーツ推進審議会で秋山エリカさんが会長をしていた時、「保護者  
が運動する時は子どもに見させると見るだけでも子どもはイメージが持てて非常に  
良い。」と秋山さんは話していた。コロナが落ち着けばこれまで通り実施ができ、参  
加も増えるのではと思う。

大槇：昼間であっても「夜間塾」。ベストは金曜日の夜開催なので戻していく。エリアによ  
り恩恵を受ける方が二分化するの否めない。児童館以外で実施する場合の保育に  
ついて、今回は見守りで行ったが、西砂会館で実施の時は、子どもと保護者が一緒に  
活動できることを基本に企画が大事。児童館の時は保育がある。今回は最終的に13

名が参加し和気あいあいとし、親子で触れ合いができ良かったと思った。見ていて微笑ましく感じた。

加藤：緊急事態宣言が解除され、学習館も制限が緩和されたが、市のホームページに食事については特に記載が無い。実際に食事の講座を行っているところもある。夜間塾では状況を見ながら考えたい。

大槁：食事については怖い部分もある。

石川：児童館での飲食については児童館を取りまとめている課が決めているとのことで、児童館が絡むと飲食は難しいのではと思う。学習館は館内の飲食は基本禁止だが講座は特例で黙食をお願いし、飲食 OK としている。

大槁：西村先生に高齢者向けのストレッチや筋肉アップのお話を伺った。これからの高齢者にとって大切。

## (2)「地域再発見・地元を学ぼう！」について

### ① 立川は何故、立川と言うの！？

- ・日 程 9月12日(日) 14:00～16:00
- ・会 場 西砂学習館 視聴覚室
- ・参加人数 21名
- ・スタッフ 委員：6名、事務局：3名

### ② 砂川の成り立ち(砂川の始まりは・・・)

- ・日程 9月26日(日) 14:00～16:00
- ・会場 西砂学習館 視聴覚室
- ・参加人数 24名
- ・スタッフ 委員：6名、事務局：3名

### ③ 砂川を歩こう(講座で聞いたことを確かめよう！)

- ・日程 11月14日(日) 13:00～15:00
- ・集合場所 西武拝島線 武蔵砂川駅 改札
- ・解散場所 多摩モノレール 砂川七番駅
- ・10/5 現在の申込者数27名(定員30名)

**集合時間が1時間  
早まりました！**

石川：11月14日「砂川を歩こう」は日の入りが早いからとのことで講師から開始時間を1時間早めようと提案があった。当日は荒天でなければ実施したいと思っている。イヤホンは当日用意する。

大槁：小学生の男の子が参加。地域のことに興味を持ってくれて嬉しく感じた。

岩元：豊泉先生は当日はどのように来るのか。

石川：これから調整をする。

大槁：来年をどうするかも含めて考えて頂きたい。今回は講師から色々吸収したいとのことで3回企画した。

(3)「西砂川での災害を考える〈第5弾〉」～自治会として何を考えようか～ について

- ・日程 11月27日(土) 18:00～
- ・10/7(木)14:00 立川災害ボランティアネットとの打合せにて決定
  - \* 進行は資料の次第を参照 \* 開催通知は自治会長に届けてあります。
  - \* 使用する資料は矢野様よりメールでご提供頂く予定

石川:10月7日に打ち合わせを行った。開催通知は本日、「西一元氣通信」と一緒に自治会長にお渡しできた。主旨を直接説明し参加をお願いできた。21名の方が参加予定。松中団地自治会は6名が参加。

大槁:講座の前半30分は各防災担当の方達に考えていることや課題等を2分強で発表して頂き、共通理解を深める。後半1時間30分は、提出して頂いているアンケートの回答を考慮して矢野さんからお話があり、防災達人テストを予定。

浅見:クロスロードを提案していたが、立川災害ボランティアネットの「防災達人テスト」が分かりやすい資料で、持ち帰り各自治会のお土産になるものだったので、そちらを最大に活かすということで決まった。

大槁:矢野さんから良い企画とお話があった。ここで研修したことが各自治会に持ち帰り広めていけたらと思う。

(4)「気軽に学べる 認知症予防講座」について

- ・日程 10月30日(土) 10:00～11:30
- ・会場 西砂学習館 視聴覚室
- ・講師 北部西かみすな地域包括支援センター
- ・10/14 現在の申込者数13名(定員25名)

石川:今年も北部西かみすな地域包括支援センターと岩元委員にご協力頂き開催。現在の申込は13名。若い方で70歳代。一番不安に思っている方が参加されている。

岩元:明日、包括支援センターと打ち合わせを行う。倉嶋さんが新しい認知症に対する考え方をお伝えしたいと話していた。

大槁:食事の話は具体的に伝えて頂けると継続しやすい。日々の生活の中で出来る具体的なメニューやプログラムを提案して頂けるとより効果がある。

森:以前参加したとき、栄養の話が少しあった。その時に思ったことは、高齢者の1人家庭だと料理が億劫になり、作ることが面倒になる方も多くなるので、「お手軽レシピ」があるとより分かりやすいかなと思った。

広瀬:講師には今回は食事も入れて欲しいとはっきり伝えることが大事。

岩元:日常的につかえるようなレシピの要望があると伝える。

### 3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認(議事録)

大槁:何かあれば事務局へ。

(2) 令和3年度第2回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会

- ・日時 令和3年11月9日(火) 午後6時～午後8時
- ・会場 立川市西砂学習館 第1教室
- ・内容 近況報告及び、情報・意見交換、他「前回に作成した3つのフィールド(学校・地域・学習館等の施設)について、具現化に向けて」

石川：すでに通知を出している。次回の内容について、基本的には3つのフィールドの具現化に向けて話したいと思っている。

大橋：6館あり、地域学校コーディネーターとの連携についてはこの運営協議会が一番進み、具体的な活動を導き出そうという話に入っているが、難事業。ファシリテートする能力が無いと会議を進めていけないと感じている。前回の会合で3つの提案を書いて頂いた。次の意見交換会ではどんな思いで書かれたか発表して頂こうと思っている。地域を焦点にして活動を絞りグループで練っていったらと思う。

岩元：問題は地域学校コーディネーターの方々はそこまで思っていないのが現状。地域学校コーディネーターがどのようなものなのか説明もなしに、引き受けてもらっている。どうもっていくかが課題かは分かる。本来は学校や教育委員から役割の説明がコーディネーターにあるべきなのではない。

大橋：先日の会合でコーディネーターとの連携について、パワーポイントで出来るだけ分かりやすく説明したつもり。生涯審で地域学習館が地域学校コーディネーターと一緒に子どもの学びを支えると書かれている。

加藤：現状は岩元委員の言う通り。教育委員会とも話しをしていて、地域学校コーディネーターに説明をしようという話はでている。一度教育委員会と情報交換をするほうが良い。

広瀬：目指すところは大橋会長が思うところ。今の時点では、前半にもう一回地域学校コーディネーターの気持ちを聞いて、後半にこれをやるのが良いのでは。前回はたった2人しか参加していない。

増田：教育委員会は地域学校コーディネーターをどう進めていこうとしているのか、オフィシャルで参加してもらうのが良い。

石川：次の意見交換会には生涯学習系の梅澤が出席する。

加藤：企画運営委員会でも話している。次の会合はセンター長に出席してもらうのが良い。

大橋：会合は年に3回しかないので顔合わせばかりでも進まない。前回の会合で書いたカードがあるので、パネルに掲示し情報は共有できる。どこかに焦点化しないと具体的なものにならない。焦点化しやすいところはどこか。「学校」は学校から要望があればできるかもしれない。「建物」も、クラブの発表の場を学習館まつりに出演してもらえるなど、具体的なものである程度考えられる。「地域」は、学習館だけではできないので、その辺に焦点を当てて出来そうなものを提案したら、形が見えてくるかなという構想。地域学校コーディネーターが何たるかを地域学校コーディネーターがどう認識しているかは、こちらの問題ではない。同じレベルで話し合いができないと困るから、情報として提供している。

増田：実態をわかってもらい認識してもらうことが大事。

大橋：答申の中にちゃんと書かれていて学習館に任された事だと思うので真剣に考える。

広瀬：この課題は大橋会長でないとできない。だけど、今回2回目ですべて具体的にや

らなくても、もう一度気持ちを聞いて頂き、熱を上げることを前段に置く位は必要。  
石川：梅沢から元々は指導課の事業だったと聞いている。実際は庶務的な雑務がきた。学校は地域学校コーディネーターのことで、学社一体に予算が付いたことに喜んでいるらしい。10月21日地域学校コーディネーター連絡会が本庁であるので傍聴に行く。そこではマニュアルの作成の説明があるとのこと。次の地運協で内容についてご報告する。

長谷川：市は名前を最初につけて、内容を後に付ける。放課後子ども教室が始まった時も名前だけ最初につけて、あとは地域に丸投げだった。教育委員会が地域学校コーディネーターを任命するときにきちんと説明してから引き受けて頂かないといけない。

岩元：知人の地域学校コーディネーターも学校から言われてやっている現状。地域学校コーディネーターとして何をやるか説明をきちんと受けていない。

大橋：任命するときに地域学校コーディネーターの説明をしっかりし、納得して受けるべき。自分が説明する時は確認のつもりでしている。

地域の人材を使って子どもの学びを支えたいと思っている。学校が忙しくて子どもの教育に十分でない実態がある。なので、地域で支えることになっている。会議の逐一を学校へ知らせてと係長に話している。学校への負担は考えていない。地域の力でなんとかしたい。少し考えてゆっくり進めたい。先が見えてないと悩んでしまう。一歩でも山に登っている実感が必要。

岩元：地域学校コーディネーターが共に山に登って貰うことが大事。その思いになるまで待つことは必要と感じる。

広瀬：マニュアルの作成とのことだが、なぜマニュアルを作るのか。

石川：コーディネーターの仕事についてのマニュアル。

増田：これを一つの題材として、市民と積み上げていくことのスタートと考えると無駄にならない。現実を知って頂く。

大橋：地域学校コーディネーターは4年前から始まっている。二期で地域学校コーディネーターのメンバーも変わっている。

加藤：やることになったこと自体が一歩進みだしたと感じる。

大橋：西砂が進んでいると言っても地域学校コーディネーターがスタートしてから4年が経っている。

岩元：最初にここで地域学校コーディネーターと顔合わせをしてから現状が変わっていない。

### (3)「西一元氣通信」第3号の発行について

・発行月は、4月・7月・10月・1月（年4回）

⇒ 第3号は10月15日発行（ウェイブサイトみんなの西砂川に掲載）

学校・18自治会配布済、配架依頼済

石川：通信参照。みんなの西砂川のQRコードを載せた。

大橋：白黒印刷だとどのような感じになるか。学校とボランティアから声を頂けて良かった。今度は防災講座があるので、防災担当から声を頂き、通信を通して地域に知らせていけたらと思う。

(4) 地域学習館運営協議会代表者連絡会の開催について

- ・日時 令和3年10月22日(金) 午後6時30分
- ・会場 市役所101会議室
- ・内容 生涯学習スタッフ・関係者研修について/交流会について/  
地域活性化講座・事業の連携について/地域課題共有(地運協運営状況)
- ・出席 各地域学習館運営協議会より委員1名の出席依頼

石川：会長と係長が参加する。

(5) 地域学習館運営協議会交流会について

- ・日時 令和4年2月19日(土) 午後1時
- ・会場 市役所302会議室
- ・内容 前回の様な発表会にならないようにする？  
複数のグループに分け、特定の議題について意見交換し発表？

石川：前は各地運協の発表会で交流会ではなかった。今回は6館の委員がばらばらになり、グループを作り、「学社一体」や「高齢者」、「子ども」等各議題を話し合い発表してもらうのはどうか。

大槁：西砂学習館が提案と進行を担当する。

広瀬：学習館と地運協がやる気があるということ、熱を感じさせるようなテーマを1つは入りたい。例えば「地運協12年目を迎えて」等。

岩元：学社一体について。地運協の委員として、学社一体を各委員がどう捉えているかそれぞれ違う。漠然としているが、皆がどう捉えているか聞かせて頂きたい。細かな意見が聞けたら良い。テーマは統一しても良いと思う。

小笠原：学社一体に少し絡む。地域再編で2小の地域が動き始めている。まず柴崎学習館がモデルになっていて、メリットデメリットがあるがここを目指して動いている。この地域は後期なのでまだ動いていない。地域再編をして子どもの居場所が確保できているのか、高齢者の使い勝手はどうなのか、まちづくり全体を考えての地域再編ができているのか。学習館の立場でそこまで突っ込んで良いかと思うがやってみるのも良いと思う。

大槁：その情報は何で得ることができるか。

小笠原：立川市のホームページ。市民に対して発表している。生の動きを知っている現場もあるかと思う。そこを交流会で聞いてみるのも良いと思う。

岩元：学習館が中心となり地域の連携をいかに図れるのか。学びの連携ができるのか。地域によって色々な課題を抱えている。生涯学習としての拠点。具体化できると良い。

浅見：学びを得ると言うスタンスで参加。

大槁：分科会形式で話し合いをして、最終的に発表し、意見を共有するという流れにする。

(6) フリースペースについて (報告)

小林：まだ始まっていない。

(7) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：緊急事態宣言が解除になり、部屋の定員制限も解除になった。市民企画は先がまだ見えない。アイムのホールは 25 日から全席使用可能になる。推進委員の講座では差し当たり今までと同じやり方にする。

広瀬：シルバー大学に講座情報誌「きらり・たちかわ」を持って行っていたが、今回は最新号が既に置いてあり驚いた。

「魅力ある西砂川地区へ」の懇談会があり、係長にお願いをして一緒に参加した。西砂地区の交通不便を解消することをきっかけに、高齢福祉課の石垣係長が中心になり始まった。町を活性化しないと乗車する人もいないので、この地域を良くしなければという話しになった。

浅見：壮大なプロジェクトになってきている。

石川：西砂産業まつりと繋げることはできないか考えたい。

浅見：「まちねっと 10 月号」をご覧になった方が「にこにこサロン」開放日に何名か来た。お仲間募集のコーナーを通じて人が増えそうと嬉しい連絡もあった。今後は 12 月号、2 月号がでる。地域福祉コーディネーターが Facebook ページを開設した。

小笠原：おかげさまで、児童館、学童保育所等クラスター無く乗り切った分ここで気をゆるめてはいけないと思っている。行事についてはやれるぞという思いと大丈夫かなという思いがある。ただ食に関しては何もできない。マスクを外すことが一番大きいリスクと思っている。ハロウィンは館内で行う予定。来月には次年度の学童保育所の申請が始まる。児童館はランドセル来館がほぼなくなるので相当数応募が来るだろうと思う。

長谷川：青少健では中学生の主張大会の審査が終わった。七中 3 年生 1 名が発表。2 年生 1 名が優秀に選ばれている。拡充型放課後子ども教室は保護者向けの会議が 10 月 30 日土曜日に行われる。青少健便りにご協力頂きありがとうございました。

大橋：サマーイベントとダブってしまうのか。

長谷川：登録していても行くか行かないかは選べる。子どもが行った、帰ったの情報は親にメールが届く予定。

岩元：文化会は地区の文化祭は中止に決まったが、市主催の文化祭は行われる。書道、絵画を集めて、11 月 13 日と 14 日にリスルホールで展示する。コーラス槐は 10 月から再開。心身ともにリフレッシュできた。

小林：フリースペースはただただ開場を待つのみ。

森：9 月 14 日、15 日は加藤委員に協力頂きワード講座を開催。参加者の中で西砂パソコン倶楽部の講座に参加してくれる方もいた。高齢者は何回でも同じことを聞いて繰り返

すことで身につけていく。2月にまたエクセル講座がある。

この前参加した体操教室は楽しかった。お仕事をされている方の土曜日は貴重で出席は大変だと思い、夜間塾をやるのは改めて大切なのかなと思った。2時間のあの内容はハードだった。内容によって時間の調整は大事だと思った。場所が2つあることは良いことだと感じた。

増田：財政を考える会では財政講座を17日にアイムで行う。財政課の昨年度の決算報告について皆で考えていく。

石川：10月17日は市民企画の「100万回生きたねこ」がある。衆議院選挙で、西砂学習館は10月23日、24日は期日前投票所となる。その為10月23日に予定していたクラシック入門講座は2月20日に延期になった。

今まで錦傾聴クラブが、各学習館で順番に傾聴講座を行っていた。その参加者の方達で「一番傾聴クラブ」が発足することになった。

加藤：「百万回生きたねこ」は今回で3回目。講師は志村さん。是非ご参加ください。

#### 4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、11月16日（火） 18：00 ～

#### <配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・「西砂川での災害を考える〈第5弾〉」～自治会として何を考えようか～次第
- ・西一元氣通信 第3号
- ・参考資料 新田砂川を訪ねて